

一般質問通告書要旨

清新クラブ 5 番議員 高阪康彦

(1 問目) 横江町長に続投を要請する。

横江丸が船出をして、4年の月日が流れようとしています。一つの節目として、航海を終えて港に戻らねばなりません。この四年の航海はどうだったでしょう。天気晴朗なれど波高しだったでしょう。航路は寄り道をせず、まっすぐに来たでしょう。スピードはどうだったでしょう。急ぎすぎて燃料を食いすぎはしなかったでしょう。舟の状況はどうだったでしょう。乗組員は一致協力をして漁をしたでしょう。その結果は大漁だったでしょう。不漁でしたでしょう。そう言ったこの四年の航海の様々な状況、成績が問われ、評価を戴く、町長選挙が来年3月に予定をされています。

さて、4年前になります前回の町長選挙を回顧しますと、候補者選定には、いろいろ紆余曲折があり、貴男に白羽の矢が当たりました。貴男は町のこと、住民のこと、議会のこと等を考えられ、火中の栗を拾う覚悟で決断をし、出馬をされ、そして見事当選をされました。この時の選挙の特徴は、会派を横断して議員が応援に回ったことでもあります。それは住民と直結する地方自治においては、保守とか革新というイデオロギーではなく、真に住民のことを考え、是々非々で判断するという、時代に呼応した新しい流れ、考え方であったと思います。現在の国政にもそのような流れが見えますし、事実、横江町長の特色でもありますが、どちらにも傾かない住民本位の姿勢を通して見えます。

次に、この4年間の総括をしますと、先ず、行財政改革につきましては、新たに行政改革推進室を創設し、行政改革集中プランに乗っ取り、着々と成果を上げておられますが、まだまだ道半ばと云う感じであります。行財政改革にはこれで終わりということはありませんし、職員、住民をも含めた意識改革という点でも、更なる努力が必要だと思えます。

次に、選挙公約でもあり少子化対策にも通じる、小学校6年生までの医療費の無料化を実現されたことは評価に値するものと思います。このさきは中学生迄の、医療費無料化を実現されるよう望みます。又、30町内でタウンミーティングを開催され、町政に住民の声を少しでも生かそうと云う姿勢は、多くの住民から評価をされています。加えて、民意の活用と言う観点から、住民の皆さんの発案によるみんなの町づくり、「協働町づくりモデル事業」を実施され、既に9つの団体が採択され、現在、活動中であります。

又、多数の町民の皆様が、利用して好評の「足湯かにえの郷」も、町長が政治力を発揮され、宝くじを利用して町の負担なしで建設されたことなども高い評価が出来るものがあります。これらは横江カラーがよく出ていると思えます。

防災対策では、学校、官公庁、橋梁などの耐震工事を順次進められておられますし、その意味で避難所にもなる蟹江中学校の新体育館が建設されたことは記憶に新しいことです。

環境対策では、蟹江川水辺スポットの整備。常設資源置き場の新設などに着手され完成をしています。

観光対策では、蟹江町の歴史、文化の発掘に重点を置き、ガイドボランティアさんの養成をされ、更なる蟹江町の観光スポットを広めています。又、町のキャラクターとして、公募による、かに丸くんを考え出され、これからの広報には、かに丸くんが大いに活躍するものと思います。

又、町長は新たに3K 5KなどKを頭文字にした分野に重点的に取り組まれようとしておられます。3Kは、観光、環境、改革、であり、それに健康と教育を足したものが5Kであります。これらの分野は今世紀における、時代変革のキーワードになると云われています。

以上、簡略にのる申し上げましたように、着実に成果を上げられ、横江色を発揮されているものと思います。その基本は住民のため、蟹江町のためであります。町長の政治に対する、真摯な姿勢と、一生懸命さは、多くの住民の共感を呼ぶものであります。

そういった意味でも、来期も蟹江丸の横江船長として、この蟹江町の水先案内人となり、住民に蟹江町に住んで良かった。と云われるような、本当の意味での、キラッと光る町にして戴くよう、期待をしつつ、次期も続投されますよう、会派を代表し、要請をするものであります。町長の御所見、決意をお聞かせ下さい。